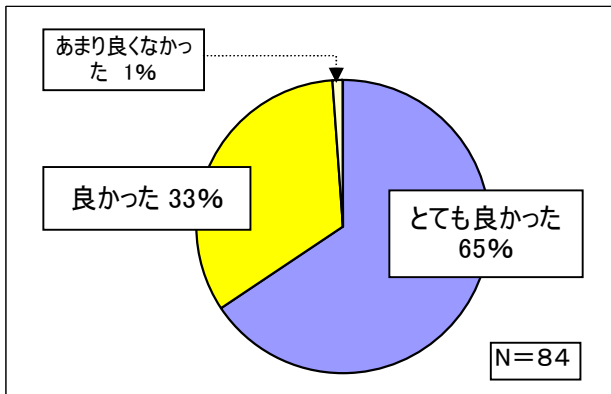


【教職員】

平成25年度 情報交換会 アンケート集計結果

■期日:平成25年8月9日(金) ■会場:ピアザ淡海
■対象:小・中・高等学校・特別支援学校教員(84名より回答)

1 今回の情報交換会はいかがでしたか？



※小数第一位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならないことがあります。

理由等自由記述欄より

以下、アンケートの記述欄から抜粋して紹介します。
企業・団体の方を、以下「支援者」と表記させていただきます。

- ・ 行政の方、NPOの方と両方おられて、学校現場と意見交流できたのは、それぞれの立場で思いや悩みを共有でき、大変よかった。
- ・ 学校の現状と課題を出し合いながら、支援者さんと話げできたこと。実際の子どもの変容など教えていただき、たいへん参考になった。
- ・ 事業所の方の生の声が聞けて、打ち合わせする際の改善点などもわかった。互いによりよく効果的に連携を進めていくために必要な点も認識できた。
- ・ 企業等団体の方々のお考えを直に触れることができよかった。このように話し合いをしながら打ち合わせをしていけば、学校教育に位置づき、また、団体の方も「来てよかった」と思えるようなプログラムができるのではないかと。
- ・ 企業の方等と話をする機会はふだんあまりないので、よい機会だった。建設的に本音でしゃべれたのでよかった。
- ・ 支援団体の方に、フェアではわからなかったよりくわしい内容を聞かせていただけて、大変有効だった。具体的に2学期以降、メニューを検討したい。
- ・ お互いに「子どもにとってよりよい体験」をめざしていることが共有できた。
- ・ 支援後(体験後)の授業評価があまりできていないことがよくわかった。支援者の方々には、学校がどう思っているのかが、伝わっていないことがわかった。学校側の悩みや苦労面の話げできて、共通理解できた。
- ・ 出前授業に対する教師の姿勢を教えられた。学校支援をさせていただいているので、教師も共に学び、よい授業になるよう努力しなければならない。丸投げはいけない。また、学習後の振り返りを両者で行い、次につなげることも必要である。
- ・ 他の学校の取り組みや、支援者の方の思いを具体的に聞かせていただき参考になった。時間が短かったぐらいである。
- ・ 各支援団体の意図や思いが理解できた。幅広い支援団体があることがわかった。学校現場に力強い応援団であることがわかった。

2 その他、お気づきの点があればご記入ください。

- ・ このように立場のちがう交流会は、大変良かった。ネックになるのは予算のことか、という意見もあった。今日のようなメニューフェアのようなことが多く実現し、充実していくように願っている。
- ・ 地域と学校をコーディネートする新任研修だけでなく、コーディネートする者が、毎年参加してもよいということにしてほしい。
- ・ どうしても企業さんとのかわりは各校単位となるため、小規模なものになるが、もっとコーディネート担当者の横のつながり(市町内)をもつと、職場体験(キャリア教育)などがスムーズに行えるのではないかと思った。
- ・ もっとたくさんの企業の方等と話ができるとよかった。企業の実践事例などを、映像つきで紹介があるとよかった。
- ・ もう少し交流時間が欲しいと感じるほど充実した研修会だった。半日単位でいいので、このような機会を是非来年も実施してほしい。
- ・ 今回来ておられる企業・団体等は、県の南部の方が多いように思った。「県全体行きます。」と言われましたが、県北部の企業・団体の参加も増えるとよい。
- ・ 会場が狭かったので、もっと広い所でできればよかった。
- ・ 今回のメニューフェア自体、知らない職員がほとんどである。新任のコーディネート担当者だけでなく、県内の全教職員に今日のメニューフェアを周知するとよいと思う(もったいないです)。
- ・ なかなか難しいと思いますが、関心のある団体と話せるとよりよいと思う。
- ・ 中学校のニーズは、情報トラブルの対策など、生徒指導に関すること、キャリア教育に関わる内容など、特化したものを全校規模で、あるいは学年規模で行うことが多い。

【しが学校支援センターより】

満足度は高かった。教職員・支援者それぞれの立場で意見を出し合い、課題や悩みを共有できた点が、満足度につながっているのではないか。今後連携授業を進める際、今回の情報交換会の意見を生かしてもらえればと考えている。